



本日、1学期の終業式を行いました。始業式や終業式の校長の話では、繰り返し、積極的に挨拶をしてほしいこと、目標を決めていろいろなことに挑戦してほしいこと、失敗してもいいから自分でやれることは自分でやるようにしてほしいことについて話をしています。この1学期を振り返り、児童生徒の皆さんが、新しい学部や学年で、明るく元気に楽しく過ごし、自分なりの方法で挨拶ができ、自分でできることがどんどん増えていることを伝えました。

7月に入って暑い日が続く、貯水槽の水の消費が激しく、断水して冷房が一時停止することが続きましたので、プールの使用と朝の部活動を当面中止させていただきました。児童生徒の皆さんには、楽しみにしていたことができなくなり、大変申し訳ありませんでした。夏休み中に必要な対応を行い、2学期には再開できるよう努めてまいります。

さて、明日から42日間の夏休みが始まります。今年の夏の関東甲信地方は、暖かい空気に覆われやすいため、例年より気温が高くなる見込みです。昨年以上の暑さになるのはとても心配ですが、規則正しい生活をして、体調管理に気をつけて、元気に過ごしてほしいと思います。

「防災共生」の取組を進めていきます

茅ヶ崎支援学校では、これまでも「防災共生」の取組を進めてきました。これは、地域の人たちとつながりながら備える、備えながらつながる「共に生きる社会、共にまもる社会」を目指すものです。防災の対策を進めるためには、自助・共助・公助の観点から総合的な準備が必要になります。

今年度も児童生徒の防災教育や避難訓練を繰り返し行ってまいります。また、茅ヶ崎市防災対策課による保護者対象の「防災講話」を6月26日に実施しました。今後は「福祉避難所施設組立訓練（8月27日）」スクールバス運行に関する防災パートナーシップを締結している医療法人社団オーエフシーおざさ医院への「スクールバス避難行動訓練（8月30日）」「防災展示フェスタ（9月25日）」「防災車中泊体験（10月26日～27日）」を実施します。さらに、茅ヶ崎飲食店組合と連携した、自力通学の生徒がいったん避難し、いっとき支援いただく「茅ヶ崎支援学校ともいき110番」も試行してまいります。

県立津久井やまゆり園の事件を忘れずに

この7月26日で、県立津久井やまゆり園で19人が死亡し27人が負傷するという、大変痛ましい事件があつてから8年になります。このような事件が二度と起こらないよう、すべての人のいのちを大切に、その人らしく生活し、偏見や差別をしない、共に生きる社会を作っていくことが大切です。そのことを終業式で、改めて児童生徒の皆さんにお話ししました。

茅ヶ崎支援学校では、共生社会の実現に向け、その一翼を担っていくことができるよう、様々な地域におけるイベント等で茅ヶ崎支援学校や児童生徒のことを地域の皆さんに伝えながら「ともに生きる社会かながわ憲章」の周知活動を進めています。

なお、右の写真は、神奈川県ともいき大使の金澤翔子さんの書「悠（千葉昭夫氏寄贈）」を持って建長寺で開催された「金澤翔子展」を訪れた時の写真です。金澤翔子さんがとても喜んでくださいました（X「ともに生きる社会かながわ憲章【公式】2024/05/07掲載」）。



(校長)